

## 平成21年度市町村等地方公営企業会計決算について(見込み)

### <ポイント>

1. [事業数] 194事業(△1事業、△0.5%)
2. [職員数] 6,700人(△55人、△0.8%)
3. [決算規模] 2,353億91百万円(△78億81百万円、△3.2%)
4. [企業債発行額] 435億47百万円(△185億88百万円、△29.9%)  
[企業債現在高] 6,423億12百万円(△66億49百万円、△1.0%)
5. [他会計繰入金] 405億28百万円(41億16百万円、11.3%)
6. [建設投資額] 485億82百万円(50億46百万円、11.6%)
7. [純損失(法適用企業)] 89百万円(△23億09百万円、△96.3%)  
[累積欠損金(法適用企業)] 699億82百万円(△73億47百万円、△9.5%)  
[不良債務(法適用企業)] 146億26百万円(73百万円、0.5%)
8. [実質赤字(法非適用企業)] 7億93百万円(△18億86百万円、△70.4%)
9. [資金不足を有する会計] 28会計(△1会計)

※( )内は前年度に対する増減。

(注) 以下の各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入したものであるため、その内訳を合計した数値は合計欄の数値と一致しない場合がある。

## 1 事業数

事業数は、平成21年度末現在194事業で、前年度と比べて1事業、0.5%の減となっている。【表1】

減少理由は、事業廃止(一般会計への統合)によるものが1事業(観光施設事業1)、法適用企業会計への統合によるものが1事業(簡易水道事業1)となり2事業減、介護サービス事業の設置による1事業増等となっている。

過去5年間の推移をみると減少傾向にあり、平成17年度の事業数と比較して8事業、4.0%の減となっている。

また、事業数を事業別にみると、下水道事業が最も多く(84事業、43.3%)、次いで上水道事業(29事業、14.9%)、病院事業(23事業、11.9%)、簡易水道事業(17事業、8.8%)となっている。【図1】

さらに、経営主体別にみると、市が74事業、町村が107事業、一部事務組合等が13事業となっており、地方公営企業法の適用状況については82事業、42.3%が同法を適用している。【表2】

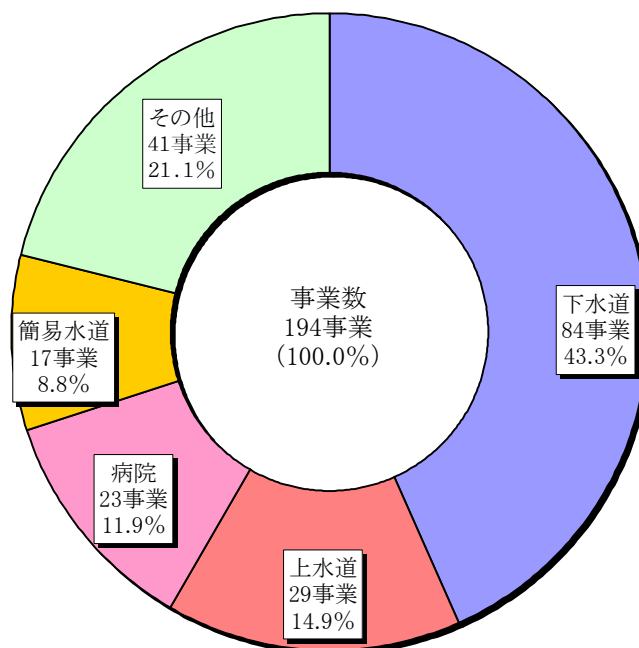
表1 事業数

(単位:事業数、%)

事業	年度						対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)	構成比	増減数 (B)-(A)	増減率
上水道	30	29	29	29	29	14.9	-	-
簡易水道	18	18	18	18	17	8.8	△1	△5.6
工業用水道	1	1	1	1	1	0.5	-	-
交通	2	2	2	2	2	1.0	-	-
病院	26	26	25	23	23	11.9	-	-
下水道	85	85	86	84	84	43.3	-	-
市場	5	5	5	5	5	2.6	-	-
と畜場	2	2	2	2	2	1.0	-	-
観光施設	10	10	10	9	8	4.1	△1	△11.1
宅地造成	8	9	9	8	8	4.1	-	-
駐車場整備	4	4	4	4	4	2.1	-	-
介護サービス	11	12	11	10	11	5.7	1	10.0
合計	202	203	202	195	194		△1	△0.5

(注)各年度の事業数は、年度末の数値であり、建設中の事業を含む。

図1 事業別事業数



(平成21年度末、上位4事業)

表2 経営主体別事業数

(単位:事業)

区分 事業	市		町 村		一部事務組合等		合 計		合 計
	法適用	法非適用	法適用	法非適用	法適用	法非適用	法適用	法非適用	
上水道	8	-	16	-	5	-	29	-	29
簡易水道	(4)	3	(3)	14	(1)	-	(8)	17	17
工業用水道	1	-	-	-	-	-	1	-	1
交通	2	-	-	-	-	-	2	-	2
病院	8	-	11	-	4	-	23	-	23
下水道	16	17	10	41	-	-	26	58	84
公共	4	6	5	13	-	-	9	19	28
特定環境	4	3	1	8	-	-	5	11	16
農業集落	3	6	4	13	-	-	7	19	26
漁業集落	-	2	-	6	-	-	-	8	8
簡易	1	-	-	-	-	-	1	-	1
小規模	2	-	-	-	-	-	2	-	2
特定地域	2	-	-	1	-	-	2	1	3
市場	-	4	-	1	-	-	-	5	5
と畜場	-	1	-	-	1	-	1	1	2
観光施設	-	4	-	4	-	-	-	8	8
休養宿泊	-	1	-	2	-	-	-	3	3
索道	-	1	-	1	-	-	-	2	2
その他	-	2	-	1	-	-	-	3	3
宅地造成	-	4	-	4	-	-	-	8	8
駐車場整備	-	4	-	-	-	-	-	4	4
介護サービス	-	2	-	6	-	3	-	11	11
小計	35	39	37	70	10	3	82	112	194
合計	74		107		13				

(注)簡易水道事業欄の( )は、上水道事業に含まれている法適用簡易水道事業数である。

## 用語の解説

### 法適用企業

地方公営企業法の全部又は財務規定を適用している事業であり、経理事務を企業会計方式で行っているもの。

### 法非適用企業

地方公営企業法を適用していない事業であり、経理事務を官庁会計方式で行っているもの。

なお、地方公営企業決算状況調査においては、官庁会計による歳入歳出を法適用企業に準じて区分し、経常的な経営収支を収益的収支として、また、建設改良費、地方債償還金及びこれに対応する財源等を資本的収支として表示している。

## 2 職員数

職員数は、平成21年度末現在6,700人で、前年度と比べて55人、0.8%減少している。【表3】

過去5年間の推移をみると、平成17年度の職員数と比較して404人、5.7%減少しており、平成17年度からの集中改革プラン等の推進により毎年度減少している。

また、職員数を事業別にみると、病院事業が最も多く(5,056人、75.5%)、次いで上水道事業(661人、9.9%)、下水道事業(395人、5.9%)、交通事業(317人、4.7%)となっている。【図2】

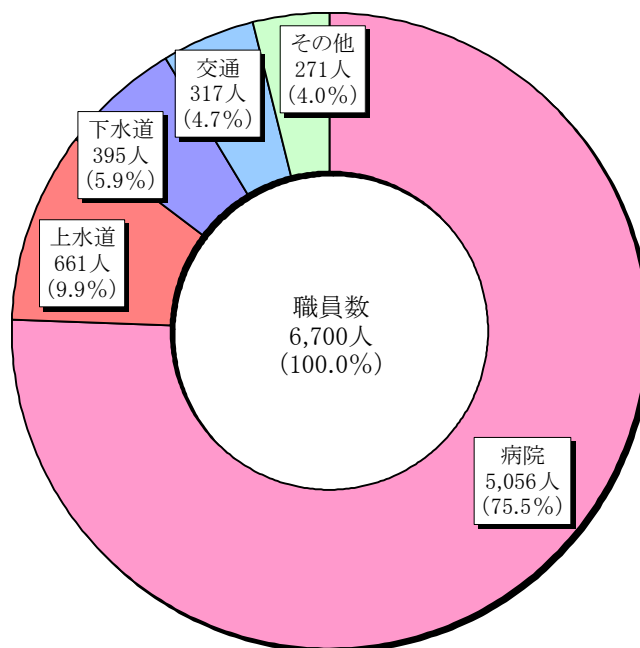
表3 職員数

(単位:人、%)

事業	年度						対 前 年 度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)	構成比	増 減 数 (B)-(A)	増 減 率
上 水 道	719	706	697	675	661	9.9	△14	△2.1
簡 易 水 道	28	32	30	27	25	0.4	△2	△7.4
工 業 用 水 道	2	2	2	2	2	0.0	-	-
交 通	388	406	377	341	317	4.7	△24	△7.0
病 院	5,180	5,157	5,041	5,044	5,056	75.5	12	0.2
下 水 道	466	439	430	412	395	5.9	△17	△4.1
市 場	64	63	61	60	60	0.9	-	-
と 畜 場	21	18	16	16	15	0.2	△1	△6.3
観 光 施 設	10	6	12	10	1	0.0	△9	△90.0
宅 地 造 成	0	0	0	0	0	0.0	-	-
駐 車 場 整 備	1	1	1	1	1	0.0	-	-
介 護 サ ー ビ ス	225	221	167	167	167	2.5	-	-
合 計	7,104	7,051	6,834	6,755	6,700		△55	△0.8

(注)平成21年度末現在の常時雇用職員数である。なお、共通職員及び兼務職員等における会計間の区分については、当該職員の所掌事務、給与の負担状況等により区分している。

図2 事業別職員数



(平成21年度末、上位4事業)

### 3 決算規模

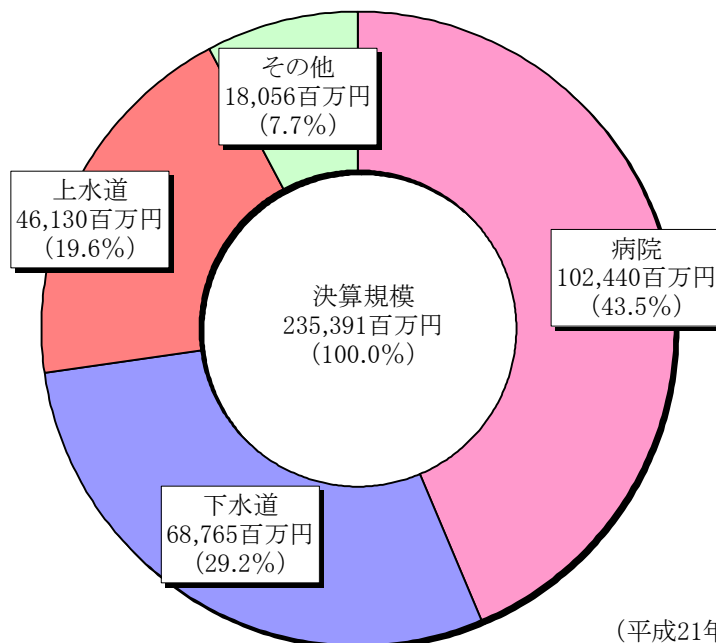
平成21年度の決算規模は、2,353億91百万円で、前年度に比べ78億81百万円、3.2%の減となっている。【表4】  
 病院事業は新病院建設工事等の増、市場事業は施設整備費の増があった一方で、上水道事業及び下水道事業は公的資金補償金免除繰上償還の大幅な減があり決算規模が減少している。  
 決算規模を事業別にみると、病院事業が最も多く(1,024億40百万円、43.5%)、次いで下水道事業(687億65百万円、29.2%)、上水道事業(461億30百万円、19.6%)となっている。【図3】

表4 決算規模

(単位:百万円、%)

事業	年度					構成比	対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)		増減額 (B)-(A)	増減率
上水道	44,243	44,301	54,172	50,088	46,130	19.6	△3,958	△7.9
簡易水道	2,611	2,748	2,602	2,663	2,366	1.0	△297	△11.2
工業用水道	141	152	173	225	198	0.1	△27	△12.0
交通	5,931	6,021	5,524	5,013	4,642	2.0	△371	△7.4
病院	96,616	98,593	111,600	99,853	102,440	43.5	2,587	2.6
下水道	68,838	64,662	69,967	74,375	68,765	29.2	△5,610	△7.5
市場	1,629	1,518	1,634	1,636	2,083	0.9	447	27.3
と畜場	1,163	1,110	1,097	1,221	1,116	0.5	△105	△8.6
観光施設	3,021	2,737	2,799	2,941	2,462	1.0	△479	△16.3
宅地造成	2,167	2,003	1,941	2,630	2,569	1.1	△61	△2.3
駐車場整備	583	551	539	542	603	0.3	61	11.3
介護サービス	2,262	2,280	2,274	2,085	2,017	0.9	△68	△3.3
合計	229,205	226,676	254,322	243,272	235,391		△7,881	△3.2

図3 事業別決算規模



### 用語の解説

#### 決算規模

企業経営に伴う支出の合計のことをいい、算出は次のとおりである。

- ①法適用企業：総費用－減価償却費＋資本的支出
- ②法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋前年度繰上充用金

## 4 企業債

### (1) 企業債発行額

平成21年度の企業債発行額は435億47百万円で、前年度に比べ185億88百万円、29.9%の減となっている。【表5】  
上水道事業及び下水道事業は公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債の減により、病院事業は平成20年度に限り発行が認められた公立病院特例債の皆減等により、企業債発行額が減少している。

また、市場事業は施設整備、宅地造成事業は土地区画整理事業に係る企業債の増により増加している。

企業債発行額を事業別にみると、下水道事業が最も多く(278億49百万円、64.0%)、次いで上水道事業(80億16百万円、18.4%)、病院事業(58億13百万円、13.3%)となっている。【図4】

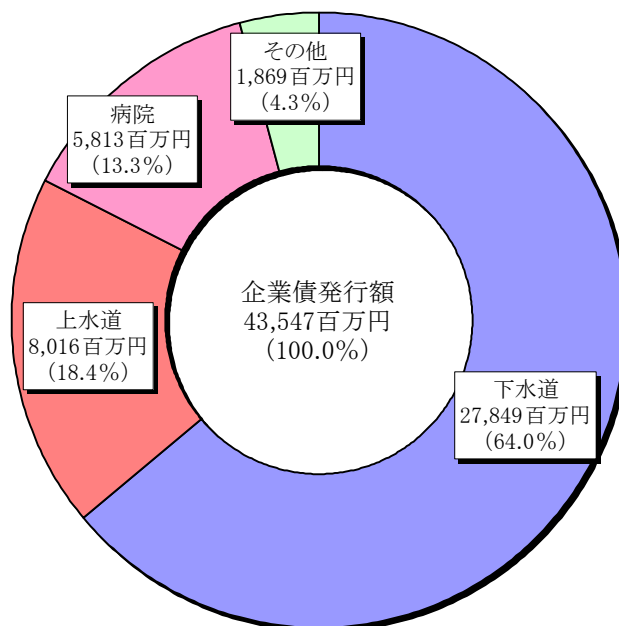
表5 企業債発行額

(単位:百万円、%)

事業	年度						対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)	構成比	増減額 (B)-(A)	増減率
上水道	5,252	4,785	14,798	13,128	8,016	18.4	△5,112	△38.9
簡易水道	587	607	404	622	304	0.7	△318	△51.1
工業用水道	21	26	47	105	72	0.2	△33	△31.4
交通	133	121	122	124	64	0.1	△60	△48.4
病院	1,871	5,196	17,794	12,413	5,813	13.3	△6,600	△53.2
下水道	21,326	21,762	29,684	35,002	27,849	64.0	△7,153	△20.4
市場	65	81	112	134	359	0.8	225	167.9
と畜場	0	0	0	0	0	0.0	-	-
観光施設	0	0	0	19	0	0.0	△19	△100.0
宅地造成	593	353	211	576	968	2.2	392	68.1
駐車場整備	0	0	0	12	102	0.2	90	750.0
介護サービス	0	0	13	0	0	0.0	-	-
合計	29,848	32,931	63,185	62,135	43,547		△18,588	△29.9

(注) 企業債発行額には、前年度同意等債で当年度収入分及び借換債を含み、当年度同意等債で未収入分は含まない。

図4 事業別企業債発行額



(平成21年度、上位3事業)

## (2) 企業債現在高

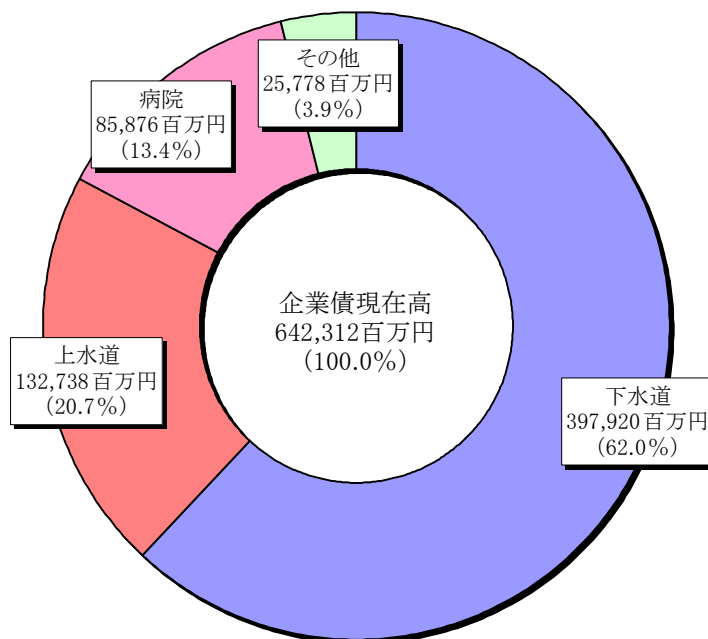
平成21年度末の企業債現在高は6,423億12百万円で、前年度に比べ66億49百万円、1.0%の減となっている。【表6】  
 上水道事業、簡易水道事、下水道事業は企業債の新規発行の減少及び企業債償還の進捗により、企業債現在高が減少している。また、宅地造成事業は土地区画整理事業に係る企業債の発行により増加している。  
 企業債現在高を事業別にみると、下水道事業が最も多く(3,979億20百万円、62.0%)、次いで上水道事業(1,327億38百万円、20.7%)、病院事業(858億76百万円、13.4%)となっている。【図5】

表6 企業債現在高

(単位:百万円、%)

事業	年度					構成比	対 前 年 度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)		増 減 額 (B)-(A)	増 減 率
上 水 道	154,685	148,582	142,846	137,688	132,738	20.7	△4,950	△3.6
簡 易 水 道	13,209	14,213	13,674	13,200	12,164	1.9	△1,036	△7.8
工 業 用 水 道	771	744	712	665	605	0.1	△60	△9.0
交 通	451	455	461	457	375	0.1	△82	△17.9
病 院	75,043	74,959	81,214	86,422	85,876	13.4	△546	△0.6
下 水 道	390,285	393,577	397,132	398,374	397,920	62.0	△454	△0.1
市 場	6,587	6,381	6,146	5,919	5,866	0.9	△53	△0.9
と 畜 場	1,161	1,052	939	821	698	0.1	△123	△15.0
観 光 施 設	2,366	2,221	2,027	1,561	1,336	0.2	△225	△14.4
宅 地 造 成	755	1,088	1,279	1,782	2,670	0.4	888	49.8
駐 車 場 整 備	1,642	1,511	1,499	1,400	1,406	0.2	6	0.4
介 護 サ ー ビ ス	917	825	764	672	658	0.1	△14	△2.1
合 計	647,872	645,608	648,693	648,961	642,312		△6,649	△1.0

図5 事業別企業債現在高



(平成21年度末、上位3事業)

## 5 他会計繰入金

平成21年度の他会計繰入金は405億28百万円で、前年度に比べ41億16百万円、11.3%の増となっている。【表7】  
上水道事業、病院事業、下水道事業、宅地造成事業において、大きく増加している。

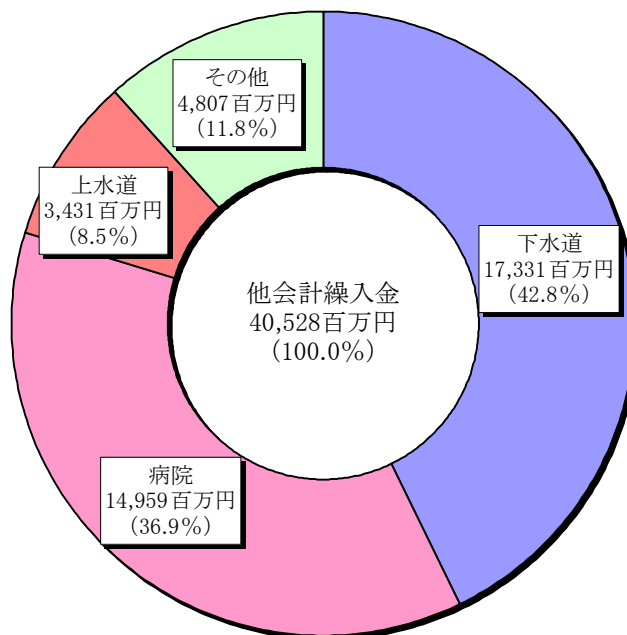
また、他会計繰入金を事業別にみると、下水道事業が最も多く(173億31百万円、42.8%)、次いで病院事業(149億59百万円、36.9%)、上水道事業(34億31百万円、8.5%)となっている。【図6】

表7 他会計繰入金

(単位:百万円、%)

事業	年度					構成比	対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)		増減額 (B)-(A)	増減率
上水道	2,719	2,608	2,634	2,354	3,431	8.5	1,077	45.8
簡易水道	597	632	712	753	860	2.1	107	14.2
工業用水道	8	10	11	8	9	0.0	1	12.5
交通	1,182	1,447	830	1,332	880	2.2	△452	△33.9
病院	11,719	10,826	11,508	13,440	14,959	36.9	1,519	11.3
下水道	18,677	16,040	16,013	16,674	17,331	42.8	657	3.9
市場	392	347	437	415	539	1.3	124	29.9
と畜場	51	46	46	46	46	0.1	-	-
観光施設	518	351	455	793	596	1.5	△197	△24.8
宅地造成	85	59	150	74	1,469	3.6	1,395	1,885.1
駐車場整備	124	130	112	134	121	0.3	△13	△9.7
介護サービス	243	292	430	389	287	0.7	△102	△26.2
合計	36,315	32,788	33,338	36,412	40,528		4,116	11.3

図6 事業別他会計繰入金



(平成21年度、上位3事業)



## 6 建設投資額

平成21年度の建設投資額は、485億82百万円で、前年度に比べ50億46百万円、11.6%の増となっている。【表8】  
 上水道事業は特定広域化事業及び補助事業の増、病院事業は新病院建設工事の増及び国の経済危機対策事業等に伴う建設改良事業の増の影響により全体的に増加している。  
 また、建設投資額を事業別にみると、下水道事業が最も多く(218億14百万円、44.9%)、次いで上水道事業(128億46百万円、26.4%)、病院事業(115億18百万円、23.7%)となっている。【図7】

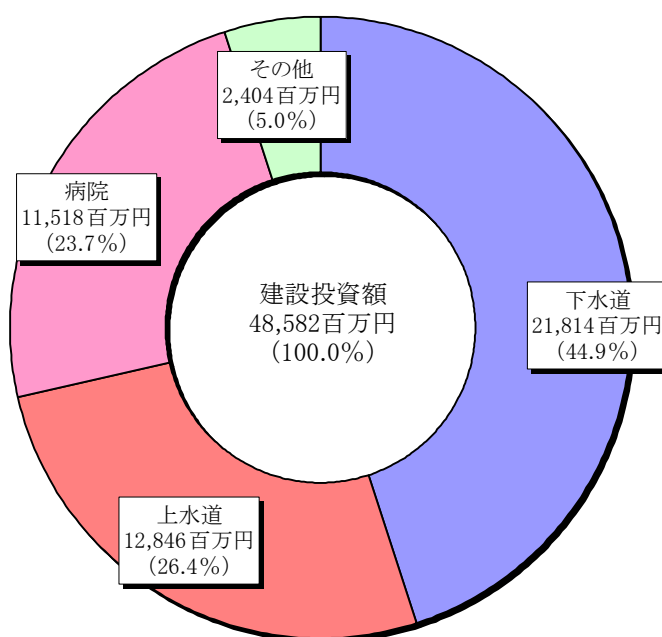
表8 建設投資額

(単位:百万円、%)

事業	年度					構成比	対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)		増減額 (B)-(A)	増減率
上水道	12,151	12,007	11,470	11,225	12,846	26.4	1,621	14.4
簡易水道	1,077	981	457	440	610	1.3	170	38.6
工業用水道	27	32	30	18	15	0.0	△3	△16.7
交通	135	124	134	203	78	0.2	△125	△61.6
病院	2,669	5,669	12,923	8,303	11,518	23.7	3,215	38.7
下水道	29,226	25,865	23,665	22,044	21,814	44.9	△230	△1.0
市場	27	89	134	140	532	1.1	392	280.0
と畜場	21	13	48	50	69	0.1	19	38.0
観光施設	278	34	32	29	29	0.1	-	-
宅地造成	596	425	415	1,053	969	2.0	△84	△8.0
駐車場整備	0	2	0	29	102	0.2	73	251.7
介護サービス	0	7	57	2	0	0.0	△2	△100.0
合計	46,207	45,248	49,365	43,536	48,582		5,046	11.6

(注) 建設投資額とは、資本的支出の建設改良費である。

図7 事業別建設投資額



(平成21年度、上位3事業)

## 7 法適用企業の経営状況

### (1) 純損益

平成21年度の純損益は、89百万円の純損失となっている。前年度に比べると、総収益は増、総費用は微減となり、23億09百万円、96.3%赤字幅が減少している。【表9】

また、純損益を事業別にみると、上水道事業は黒字が大きく、病院事業、下水道事業においては赤字が大きくなっている。【表10】

表9 純損益

(単位:百万円)

項目 事業	総 収 益			総 費 用			純 損 益		
	20年度 (A)	21年度 (B)	増減額 (B)-(A)	20年度 (A)	21年度 (B)	増減額 (B)-(A)	20年度 (A)	21年度 (B)	増減額 (B)-(A)
上水道	32,098	31,985	△113	29,606	28,893	△713	2,492	3,091	599
工業用水道	113	106	△7	75	69	△6	38	38	0
交通	4,494	4,299	△195	4,532	4,565	33	△38	△266	△228
病院	85,556	87,222	1,666	88,611	89,160	549	△3,055	△1,938	1,117
下水道	8,703	9,572	869	10,553	10,610	57	△1,849	△1,038	811
と畜場	545	541	△4	531	517	△14	14	24	10
合計	131,509	133,725	2,216	133,908	133,814	△94	△2,398	△89	2,309

表10 事業別純損益

(単位:事業、百万円、%)

事業	年度	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)	対前年度	
							増減 (B)-(A)	増減率
上水道	黒字	(22) 2,443	(21) 1,829	(24) 2,006	(27) 2,518	(28) 3,101	(1) 583	23.2
	赤字	(8) 107	(7) 102	(5) 301	(2) 26	(1) 10	(△1) △16	△61.5
工業用水道	黒字	(1) 11	(1) 26	(1) 30	(1) 38	(1) 38	(0) 0	0.0
	赤字	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	-
交通	黒字	(2) 13	(1) 29	(1) 27	(1) 72	(1) 20	(0) △52	△72.2
	赤字	(-) -	(1) 350	(1) 171	(1) 110	(1) 286	(0) 176	160.0
病院	黒字	(7) 604	(6) 725	(8) 597	(7) 787	(9) 940	(2) 153	19.4
	赤字	(23) 4,955	(20) 5,761	(17) 5,481	(16) 3,842	(14) 2,878	(△2) △964	△25.1
下水道	黒字	(2) 127	(1) 54	(2) 59	(1) 2	(6) 103	(5) 101	5,050.0
	赤字	(7) 888	(10) 1,305	(13) 1,766	(22) 1,851	(20) 1,141	(△2) △710	△38.4
と畜場	黒字	(-) -	(1) 2	(-) -	(1) 14	(1) 24	(0) 10	71.4
	赤字	(1) 15	(-) -	(1) 23	(-) -	(-) -	(-) -	-
合計		(73) △2,767	(69) △4,853	(73) △5,023	(79) △2,398	(82) △89	(3) 2,309	△96.3

(注) 各事業の上段が純利益(黒字)、下段が純損失(赤字)であり、( )内は事業数である。

### 用語の解説

#### 純損益

法適用企業において、総収益から総費用を差し引いた額をいう。なお、純損益がプラスであれば「純利益(黒字)」、マイナスであれば「純損失(赤字)」という。

(2) 累積欠損金

平成21年度の累積欠損金の総額は、699億82百万円で、前年度に比べ73億47百万円、9.5%の減となっている。

【表11・図8】

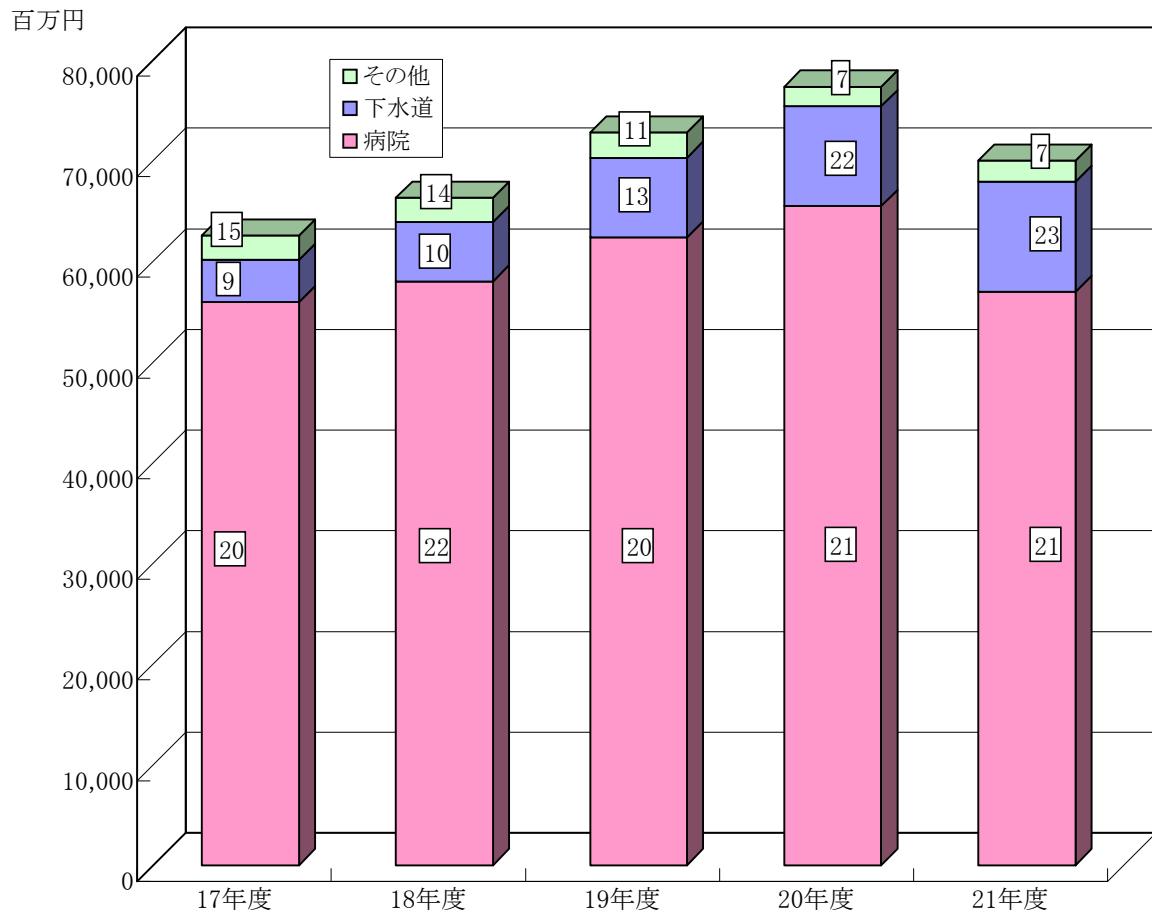
また、累積欠損金を事業別にみると、病院事業が最も多く(569億23百万円、81.3%)、次いで下水道事業(109億74百万円、15.7%)となっており、全体の97.0%をこの2事業が占めている。

表11 累積欠損金

(単位:百万円、%)

事業	年度					構成比	対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)		増減額 (B)-(A)	増減率
上水道	1,080	790	717	635	541	0.8	△94	△14.8
工業用水道	-	-	-	-	-	-	-	-
交通	1,060	1,372	1,515	1,052	1,318	1.9	266	25.3
病院	55,933	57,994	62,361	65,475	56,923	81.3	△8,552	△13.1
下水道	4,202	5,883	7,908	9,917	10,974	15.7	1,057	10.7
と畜場	244	242	264	250	226	0.3	△24	△9.6
合計	62,519	66,281	72,765	77,329	69,982		△7,347	△9.5

図8 事業別累積欠損金 ※□内は事業数である。



用語の解説

累積欠損金

法適用企業において、営業活動によって損失(赤字)を生じた場合に、繰越利益剰余金、利益積立金等によってもなお補てんができなかった各事業年度の損失(赤字)額が累積したものをいう。

### (3) 不良債務

平成21年度の不良債務は、146億26百万円で、前年度に比べ73百万円、0.5%の微増となっている。【表12】  
 また、不良債務を事業別にみると、病院事業が最も多く(116億09百万円、79.4%)、次いで下水道事業(18億80百万円、12.9%)、交通事業(10億87百万円、7.4%)となっている。【図9】

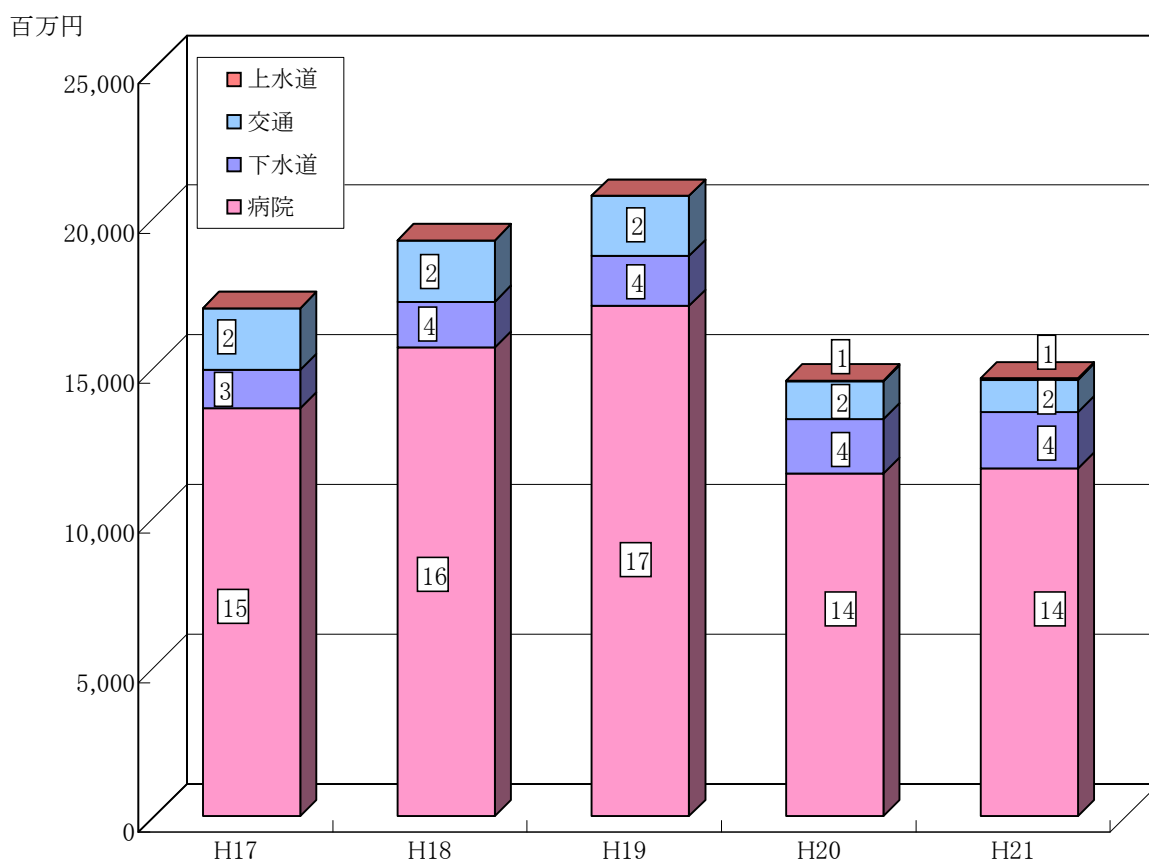
表12 不良債務

(単位:百万円、%)

事業	年度					構成比	対前年度	
	17年度	18年度	19年度	20年度 (A)	21年度 (B)		増減額 (B)-(A)	増減率
上水道	-	-	-	31	50	0.3	19	61.3
工業用水道	-	-	-	-	-	-	-	-
交通	2,063	2,051	2,013	1,256	1,087	7.4	△169	△13.5
病院	13,621	15,657	17,043	11,438	11,609	79.4	171	1.5
下水道	1,286	1,528	1,662	1,828	1,880	12.9	52	2.8
と畜場	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	16,970	19,236	20,718	14,553	14,626		73	0.5

図9 事業別不良債務

※□内は事業数である。



### 用語の解説

#### 不良債務

流動負債(未払金、一時借入金等)が流動資産(現金、未収金等)を超える額であり、企業がどのような経営状況にあるかを判断する基準の一つであり、不良債務が発生しているということは、その企業の支払い能力を超える債務があるという状態である。

## 8 法非適用企業の経営状況

### (1) 収益的収支、資本的収支

平成21年度の収益的収入と資本的収入の合計額は560億68百万円となっており、前年度と比べて42億02百万円の減、収益的支出と資本的支出の合計額は558億61百万円で、前年度と比べて58億55百万円の減となっており、収入が支出を上回っている。【表13】

表13 収益的収支、資本的収支

(単位:百万円、%)

事業	収益的収入＋資本的収入			収益的支出＋資本的支出			収 支 差 引		
	20年度 (A)	21年度 (B)	増減額 (B)-(A)	20年度 (C)	21年度 (D)	増減額 (D)-(C)	20年度 (E)	21年度 (F)	増減額 (F)-(E)
簡易水道	2,538	2,294	△244	2,469	2,237	△232	69	57	△12
下水道	50,337	44,657	△5,680	52,137	46,507	△5,630	△1,800	△1,850	△50
市場	1,610	2,073	463	1,606	2,065	459	4	8	4
と畜場	696	602	△94	647	560	△87	49	42	△7
観光施設	1,247	958	△289	1,111	762	△349	136	196	60
宅地造成	1,198	2,861	1,663	1,193	1,147	△46	5	1,714	1,709
駐車場整備	544	601	57	542	603	61	2	△2	△4
介護サービス	2,100	2,022	△78	2,011	1,980	△31	89	42	△47
合 計	60,270	56,068	△4,202	61,716	55,861	△5,855	△1,446	207	1,653

### (2) 実質収支

平成21年度の実質収支は7億93百万円の赤字となっており、前年度に比べ18億86百万円赤字幅が減少している。また、事業別にみると、簡易水道事業、観光施設事業において赤字が黒字を上回っている。【表14】

表14 実質収支

(単位:事業、百万円、%)

事業	年度	対 前 年 度												
		17年度		18年度		19年度		20年度 (A)		21年度 (B)		増 減 (B)-(A)	増 減 率	
簡易水道	黒字	(16)	95	(16)	101	(16)	49	(15)	48	(15)	52	(0)	4	8.3
	赤字	(2)	29	(2)	168	(2)	194	(3)	132	(2)	75	(△1)	△57	△43.2
下水道	黒字	(74)	358	(73)	346	(70)	356	(61)	337	(57)	294	(△4)	△43	△12.8
	赤字	(2)	3	(1)	15	(1)	327	-	-	(1)	17	(1)	17	皆増
市場	黒字	(5)	37	(5)	32	(5)	66	(5)	40	(5)	20	(0)	△20	△50.0
	赤字	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
と畜場	黒字	(1)	22	(1)	31	(1)	38	(1)	50	(1)	41	(0)	△9	△18.0
	赤字	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
観光施設	黒字	(5)	15	(5)	20	(6)	9	(5)	1	(4)	1	(△1)	0	0.0
	赤字	(5)	1,816	(5)	1,890	(4)	1,830	(4)	1,696	(4)	1,499	(0)	△197	△11.6
宅地造成	黒字	(6)	26	(8)	1	(8)	2	(7)	2	(8)	294	(1)	292	14,600.0
	赤字	(2)	1,450	(1)	1,442	(1)	1,432	(1)	1,422	-	-	(△1)	△1,422	皆減
駐車場整備	黒字	(4)	5	(4)	6	(4)	7	(4)	9	(4)	7	(0)	△2	△22.2
	赤字	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
介護サービス	黒字	(15)	94	(16)	84	(10)	69	(10)	84	(10)	90	(0)	6	7.1
	赤字	(2)	148	(2)	162	(1)	68	-	-	(1)	1	(1)	1	皆増
合 計		(139)	△ 2,794	(139)	△ 3,056	(129)	△ 3,255	(116)	△ 2,679	(112)	△ 793	(△4)	1,886	△70.4

(注) 各事業の上段が実質黒字、下段が実質赤字であり、( )内は事業数である。

## 用語の解説

### 実質収支

収入総額(収益的収入＋資本的収入)から支出総額(収益的支出＋資本的支出)を差し引いて、更に他の収入と支出の差し引きを加えたものである。他の収入とは、前年度からの繰越金、収益的支出に充てた地方債及び他会計借入金であり、他の支出とは、積立金、前年度繰上充用金及び翌年度への繰越財源である。なお、実質収支がプラスであれば黒字、マイナスであれば赤字と呼んでいる。

## 9 資金不足

平成21年度で資金不足を有する会計は28会計で、前年度と比べて1会計の減となっている。【表15】

地方財政法の規定により、前年度の資金不足比率が10%以上になると、資金不足等の解消を図るための計画を策定するものとし、その内容及び実施状況等を勘案して地方債の発行を許可することとなっているが、10%以上となった会計は25会計で、前年度に比べ1会計の減となっている。

また、事業別にみると、病院事業が最も多く(15会計)、観光施設事業(5会計)、交通、下水道、簡易水道事業(各2会計)と続いている。

表15 資金不足額及び資金不足比率

(単位:千円、%)

事業区分	団体名	会計名	21年度			20年度		
			資金不足額	公立病院特例債残高	資金不足比率	資金不足額	資金不足比率	
法 適 用 企 業	上水道	久吉ダム水道企業団	水道事業会計	49,685	-	17.4	31,444	11.4
	交通	青森市	自動車運送事業会計	388,775	-	17.8	371,299	14.6
		八戸市	自動車運送事業会計	697,766	-	55.1	884,600	66.9
	病院	弘前市	病院事業会計	507,220	322,000	13.6	576,346	16.6
		八戸市	市民病院事業会計	62,644	1,191,200	0.5	1,139,473	9.6
		黒石市	病院事業会計	1,347,428	857,200	31.3	1,572,256	34.7
		五所川原市	病院事業会計	456,786	-	7.0	337,142	5.4
		十和田市	病院事業会計	2,736,535	1,189,288	49.2	2,100,654	41.9
		つがる市	国民健康保険病院事業会計	26,890	-	1.4	118,924	6.9
		平内町	国民健康保険平内中央病院事業会計	109,787	-	10.8	173,803	16.1
		鱒ヶ沢町	病院事業会計	589,628	349,200	40.8	570,608	40.1
		大鰐町	病院事業会計	269,622	148,027	36.1	312,567	42.1
		板柳町	板柳中央病院事業会計	579,742	191,807	77.7	691,071	93.3
		鶴田町	病院事業会計	682,207	-	63.7	749,198	61.7
		三戸町	病院事業特別会計	947,752	848,938	58.7	1,074,137	70.3
		公立金木病院組合	病院事業会計	1,450,895	-	101.1	1,352,629	96.4
	下北医療センター	病院事業会計	5,226,060	-	53.0	5,975,406	57.9	
	北部上北広域事務組合	病院事業会計	585,359	-	26.6	268,780	11.3	
	下水道	黒石市	下水道事業会計	1,587,509	-	534.3	1,526,689	515.1
		田舎館村	下水道事業会計	291,569	-	285.1	295,662	305.6
田舎館村		農業集落排水事業会計	-	-	-	5,493	59.3	
簡易水道	今別町	今別地区簡易水道特別会計	38,408	-	44.0	48,904	54.7	
	外ヶ浜町	簡易水道事業特別会計	36,396	-	38.1	79,391	91.3	
観光施設	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	657,954	-	2,106.3	664,747	1,879.4	
	黒石市	温泉供給事業特別会計	140,704	-	955.0	165,435	1,417.3	
	黒石市	観光施設事業特別会計	172,991	-	全額資金不足	204,686	全額資金不足	
	大鰐町	休養施設事業特別会計	355,474	-	329.7	415,477	402.9	
	大鰐町	温泉事業特別会計	171,970	-	962.2	249,832	1,441.8	
宅地造成	むつ市	用地造成事業会計	-	-	-	1,421,871	9,479,140.0	
介護サービス	外ヶ浜町	外ヶ浜町訪問看護ステーション特別会計	968	-	11.5	-	-	

- (注) 1. 資金不足比率は特別会計を単位に算定されることから、事業数とは必ずしも一致しない。  
 2. この資金不足比率は、「地方財政法」によるものであり、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく資金不足比率とは算定方法が異なっている。  
 3. 下記の計算式のとおり「建設改良費等以外の経費に充てるために起こした地方債の現在高」が資金不足額に加えられるが、当県においてこれに該当するのは「公立病院特例債」のみであり、うち書きで記載している。

### 用語の解説

#### 資金不足額

①法適用企業:A+B-C

A:流動負債の額から当年度同意等債で未借入又は未発行の額を控除した額

B:建設改良費等以外の経費に充てるために起こした地方債の現在高

C:流動資産の額から事業繰越に係る特定財源を控除した額

②法非適用企業:A+B-C+D

A:繰上充入金 B:支払繰延額及び事業繰越額の合算額 C:Bに係る未収入特定財源

D:建設改良費等以外の経費に充てるために起こした地方債の現在高

#### 資金不足比率

資金不足額÷(営業収益-受託工事収益)